

一日一回 感動を！

西牧 幸男

(小野山神出身/東京支部)

「広報おのまち」に載せていただくのは今回で2回目となります。あれから10年という歳月が経ちました。本当に早いものです。実は私は、昨年(平成23年3月)

定年ということで38年間、両親から健康な体をいただき、大きな病気もせずに無事勤めることができました。今年小戸神小学校38年卒による還暦同級会(東堂山観音堂にて)に参加し当時の仲間と一緒に大変楽しい時間を過ごすことができました。しかし時代の流れの中でこの小戸神小学校は廃校ということになり何か寂しい気が、これも時の流れの中だと思うと仕方のないことです。時々この小学校校歌の頭の部分：日影山、晴れて、くもなきを思い出しついでさみみます。また、その風景は心の中に残り、友と学んだ精神は心体に宿っています。小さい頃、そこに母がいて、父も祖父も、そして兄弟もいて、みんなが集まったところにたき火が燃えていた。パチパチと、それが秋だったか冬だったかは分からない、そのとき火にあたっていた幼い日のことはよく覚えている。このような光景にひたって：そんな昔ではない。それにしても繁栄という時の流れの中に、このように過ぎ去った時代を懐しみ、ふるさと(小野町)を思っています。その中で、昨年

発生した東日本大震災は、私にとっても大変心の痛むものであり、ふるさとの一日も早い復興を願うものであります。さて、これからは今の私の生活について話をします。今年の夏は、大変暑く「疲れる」とつい口に出してのあいさつになつてしまう。隣りで聞いていた友人に「年だから」と言われました。しかし言葉で言うほどにこの暑さが身に応えたということはなかった。実は私は、定年後時に束縛されない程度に週2回、大学で仕事をさせていただいております。内容は、今までの経験を若い学生さんに伝えていくという、私にとっても良い刺激で

学生さんと話すことが明日への活力になつていきます。現在私のモットーは、一日一回感動することです。人と出会ったり、日本の伝統芸を鑑賞したり、文学を読んだり、音楽を聞いたり、そのほか日々感動を見つける発見は大変楽しいものです。お勧めします。今後、小野町に時々出掛けて、活動に参加したいと思っておりますのでよろしくお願います。



飯豊ひまわり保育園
楽しかった
遠足



△リカちゃんキャッスルに着いたよ

飯豊ひまわり保育園では、10月5日、浮金つっじ児童園の友だちと合同で秋の遠足を実施しました。目的は、リカちゃんキャッスルです。バスに乗り保育園を出発！「ワー、お城みたい」「お人形がいっぱい」「初めて来たよ」「かわいい」とさまざまな喜びや驚きの声がかれました。その後、交通安全指導を兼ねて信号のある交差点を



△文化の館ってどんなところかな

歩き、歩道橋を渡り、文化の館へ行きました。文化の館では、職員の方からどんな所なのか詳しくお話を聞き、昔の家を見たり、たくさんのお本に驚いたり、図書館では走ったり大声で話してはいけないこと、好きな絵本が借りられることを教えていただきました。そして楽しみにしていたお弁当、児童園の友だちとシートを広げ、話をしながらお母さんが作ってくれたおいしいお弁当を食べました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、子どもたちは「また来たい」と言いながらバスに乗り保育園に戻りました。